

一わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘いー
ミュージアム都留からのお知らせ

『久住三郎展』一祈りのころを描くー

会期 8月22日(土)まで

富士北麓を創作の場とした芸術家の一人として、独自の細やかな感性により叙情的、神秘的な表現世界を作り上げた画家・久住三郎の作品をご観覧ください。

久住三郎は、俵屋宗達、尾形光琳、伊藤若冲などの巨匠たちから日本画の伝統を学び、それを土台として独自の世界を作り出していました。

作品はしっかりとした構図で色は美しく、日本美術の特質でもある精神性、洗練、装飾美を備えています。題材である

女性や花や草木の一つひとつに、優しい心が入り込み、昇華して表されています。色調は奥深く、透明感があります。

また、独自の表現方法の一つとして、フローティング(薄めた絵の具で透けるように塗り重ねる方法)と横の線により、宇宙の広がりや幻想的な世界を現しています。

時間	午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料	一般 300円(210円) 高・大学生 200円(140円) 小・中学生 100円(70円) ※()内は20名以上の団体料金です。
休館日	毎週月曜日、第3火曜日、祝日の翌日
問合せ先	ミュージアム都留 ☎(45)8008

<作品の紹介>

第66回日本美術院展出品作品

遥かなる永遠の世界を思いながら制作した、生涯における代表作の1つ。



「遙」(1981年)

<作品の紹介>

第8回山種美術館賞展出品作品

静かで奥深い森を支配しているかのようなふくろうの姿。



「皇」(1985年)

歴史講座「ふるさと発見教室」

開催日 8月20日(木)、9月3日(木)、
17日(木)、10月14日(水)
時間 午前9時30分～11時40分
場所 市内、県外、文化会館(講義)
定員 40名
※定員になり次第締め切ります。
講師 棚本安男
参加料 保険代、交通費など実費負担
申込日 7月9日(木)午前9時～
※本人のみ受け付け可能です。
申込先 中央公民館 ☎(43)1451

《作品の紹介》
筆とパレットを手にした老紳士。画伯を彷彿とさせる作品です。



「アーティストパントル」

増田誠美術館
増田誠画伯を偲ぶ展 第2期
～増田画伯愛蔵作品展～
増田画伯のアトリエに飾られていた作品を中心に展示します。画伯が手元に残した作品です。ぜひ一度、美術館に足を運んではいかかでしょうか。
会期 6月13日(土)～9月27日(日)
開館時間 午前9時～午後4時30分
会場 増田誠美術館(ふるさと会館2階)
休館日 月曜日、第3火曜日、祝日の翌日

増田誠美術館

増田誠画伯を偲ぶ展 第2期

～増田画伯愛蔵作品展～

勝山城お茶蔵を活かした
これからのまちづくり・ひとづくり
お茶壺道中行列は、平成12年から本年で10周年を迎えました。そこで「勝山城お茶蔵を生かしたこれからのまちづくり・ひとづくり」と題して、シンポジウムを行います。

日時 7月19日(日)午後1時～
会場 文化会館 大ホール
テーマ 「勝山城お茶蔵を生かしたこれからのまちづくり・ひとづくり」

①講演

国井雅比古(NHKアナウンサー)
これまでの豊富な経験をもとに、ふるさと都留に対する想いを語ります。

②調査報告

出月洋文(原埋蔵文化財センター調査研究課)
スライドを用いて勝山城発掘調査報告、市の文化遺産を多角的に説明します。

③パネルディスカッション

コーディネーター
市原 実
パネラー
石川美和子、出月洋文、深沢新次郎、志村浩哉

問合せ 採茶使会 副代表 岩間
☎(43)2565